

守口文化センター指定管理者制度 総合評価(施設所管課による評価)

【評価対象施設】 守口文化センター

【指定管理者名】 公益財団法人守口市文化振興事業団

【評価対象年度】 平成30年度

【施設所管課名】 市民生活部 生涯学習・スポーツ振興課

施設のサービス水準の視点 コメント

施設利用者数は前年度より年間約20,000人の増加となっており、貸し室の利用率は上昇傾向にある。今後も利用率上昇に繋がる取組み(広報・営業活動・新規事業の実施等)が必要である。  
図書室については、貸出予約者数が約700人増となっており、WEB・携帯予約の影響が大きいことがうかがえる。所蔵本の自施設利用率、貸出人数ともに上昇しているが、今後も他市図書館や令和2年度に開館予定の(仮称)守口市立図書館との連携を強化し、更なる利用者増に繋がる図書サービスの提供が必要である。

収支状況 コメント

平成30年度については、約1,800万円の赤字決算である。最大の要因としては、新年度の利用に係る施設利用料金を新指定管理者に引継いだため、施設利用料収入が減少したことが挙げられる。  
今後も、支出面での抑制は継続して図るとともに、利用者のニーズに沿った事業展開を効率的に実施し、利用料収入のさらなる増加を図り、施設の適切な管理運営に努める必要がある。

市(施設所管課)による総合評価

高い利用率で運営している会議室・研修室はあるものの、全体の貸し室としての利用率は低水準にあるため、駅前という施設の立地環境を活かした事業展開等、稼働率の上昇に繋がる取組みの実施が必要である。  
また、収支面は赤字決算ではあるものの、集客率の高い事業であるコンサートの開催や、好評を得ている「エナジーキネマ劇場」の開催等、施設利用者数の増加に繋がる自主事業を継続して実施している点を評価した。今後も、その施設ならではの強みや個性を打ち出して固定客はもちろんのこと、新規の利用者数の拡大を図る事業展開が必要である。利用者のニーズに沿った事業を効率的に実施し、本市における文化の振興に努められたい。  
結びとして、駅前のカナディアンスクエアや交通広場等の人々が集い交流できる好立地を活かし、市の推進する「まちのにぎわい」を創出する一助となってもらうよう、地域住民や周辺企業の協力や新たな協働を踏まえた事業展開が求められる。

総合評価

B

総合評価区分

- A : 協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B : 概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C : 協定事項等の水準以下であった